



発行所
和歌山市小松原通1丁目
和歌山県
毎月1回1日印刷発行
定価 1部2円50銭

号外

縣民各位に訴う

教育予算の査定に当り 知事、談話を発表

年を追うて窮迫の度を加えつつある本県の財政は、ついに「どん底」の様相を呈するに至り、三十一年度は全般的に昨年度の二割乃至三割減という徹底的な緊縮予算を組まざるを得ない羽目となった。従つて教育予算も多少の影響はまぬがれない現状にある。一方關係

者からは教育振興を叫ぶ聲が澎湃として湧き上つており、教育優先の県政を推進して来た知事は、教育予算編成に日夜苦慮を重ねているが、本日つぎのような談話を発表、県民各位の絶大な協力を要請した。



寫真は教育予算の査定風景



教育関係予算の査定に当り、県民の皆さんから教育振興のため熱心な意見を承り、私も同感を感じたものがある。一、一國一縣の風俗の上に教育が育つていくことは、私共知事として切実である。今、教育予算が削減されることは、私共知事として切実である。今、教育予算が削減されることは、私共知事として切実である。

次に学級編成、いかにせよと、一学級当りの生徒数を比較してみますと、小学校では全国平均五・九人、九人に対して本県は五・三一人、中学校では全国平均五・六一人、七人に対して本県は五・一人、このように、全国的に比べて、本県の学級編成は、かなり不利な状態にある。これは、全国的に比べて、本県の学級編成は、かなり不利な状態にある。

実際に授業を担当している一学級当りの先生の数

都道府県	小学校	中学校	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	徳島	山口	広島	岡山
北海道	一・〇五	一・三九	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
青森	一・〇三	一・二八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
岩手	一・〇八	一・四三	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
宮城	一・一八	一・五三	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
秋田	一・二六	一・五一	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
山形	一・二六	一・四二	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
福島	一・二一	一・三九	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
茨城	一・一〇	一・三三	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
栃木	一・一一	一・四二	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
群馬	一・一五	一・四四	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
埼玉	一・二二	一・四九	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
千葉	一・二二	一・四九	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
東京	一・二二	一・四九	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
神奈川	一・〇六	一・三四	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八
新潟	一・二二	一・四七	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八	一・〇八

教育の優位持續を確信

どん底の財政下、一時的な非常措置
和歌山県知事 小野 眞次

次に学級編成、いかにせよと、一学級当りの生徒数を比較してみますと、小学校では全国平均五・九人、九人に対して本県は五・三一人、中学校では全国平均五・六一人、七人に対して本県は五・一人、このように、全国的に比べて、本県の学級編成は、かなり不利な状態にある。これは、全国的に比べて、本県の学級編成は、かなり不利な状態にある。

和歌山県において全国平均の学級編成を適用した場合一学級当り教員率はどうなるか

区分	本県に適用した場合		全国平均一学級当り教員率	差引
	30年度和歌山県予算定員	全国平均の学級編成を適用した場合		
小学校 (現学級数 3566)	実働教員 3746	3185	1.176	1.090 0.086
	教職員 4332		1.360	1.225 0.135
中学校 (現学級数 1527)	実働教員 2322	1422	1.632	1.431 0.201
	教職員 2629		1.849	1.597 0.252

註 ①実働教員とは実際教壇に立つ教員で校長、養護教員、事務職員は含まない
②教職員は上記の校長、事務職員等をも含んだ全員を意味する

全員の平均学級編成	
小学校	中学校
単式 59人	57人
複式 39	36
複々式 33	-
単級 26	28

(解説)
本県の30年度予算で小学校3566学級(一学級当り53人という基準)を認めているが左表の全国平均編成で和歌山県に適用すると3.185学級即ち全国平均からみた本県のあるべき学級、いわゆる理論学級である訳です。この理論学級3.185学級を本県の30年度予算で予定している教員3746人で算出すると、一学級当り1.176人となる訳で、ところが全国平均は1.09人になるのです。教職員についても同様、勿論中学校においても本県は全国に比して学級当り教員率は上廻つておることです。

教育職員の給与平均単価の比較表

区分	実 際 単 価		比 較	
	和歌山県	地方教育公務員の全国平均	和歌山県と全国平均との差	本県と全国平均との差
小学校	16.918	16.323	595	1.168
中学校	18.199	16.983	1.216	1.410
県立高等学校	21.703	20.813	890	1.674

(解説)
この表は校長、教諭、助教諭、養護教員について平均単価を比較したもので、同一勤続年数、同一学歴等の基準で換算すると、本県の小学校教員は国の基準より1.168円、全国府県の先生の平均より680円それぞれ高く、中学校、高校についても同様高いことを表わしたものであります。

